



## 支部NEWS

## 北海道支部

## 関東支部

## 【北海道支部】 セミナーレポート

## 直営・委託栄養士が思いを1つに、より良い給食マネジメントをめざす

## 栄養経営士研究会 給食マネジメント編①

## 給食業務の質&amp;効率性をどう上げる?~そこから見える新たな景色~

2018年12月8日(土)、日本栄養経営実践協会北海道支部は「『栄養経営士研究会』給食マネジメント編① 給食業務の質&効率性をどう上げる?~そこから見える新たな景色~」を日本医療企画北海道支社セミナールームで開催しました。道内各地から参加者が集まり、講義とグループワークを通じて研鑽を深めました。

患者さんのため、立場に関係なく  
お互いに理解・協力して取り組みを!

研究会には、栄養経営士をはじめ病院やクリニックの管理栄養士、委託給食会社の栄養士など定員の30名近い参加者が集まり、会場は熱気に包まれました。

会に先立ち、本企画の発案者・田中智美さん(手稲深仁会病院栄養管理部部長・栄養経営士/北海道支部理事)が「今の職場で栄養部門のマネジメントに取り組んできた6年間は、たくさんの迷いや悩みがあった。今回は委託の栄養士さんにも声をかけ、安全で美味しい食事の提供は何であるか一緒に考える機会にしたい」と挨拶しました。

田中さんは、続けて当研究会開催の背景について説明。「食文化の多様性や労働人口の減少などから、これまで以上に給食マネジメントの質

が問われる時代」とし、「美味しい食事では患者さんを元気にするためには、直営、委託に関わらず、同じベクトルを持ち、同じ勢いで進むことが求められる」と訴えました。

続けて、角直子さん(札幌禎心会病院栄養科係長・栄養経営士/北海道支部理事)が講演。かつては委託栄養士であった自身の経験を振り返るとともに、直営栄養士となった現在の課題やマネジメントのあり方などを軽妙なトークで披露しました。委託時代には気付かなかったが今だからわかることとして、業務量ほかハード面やオペレーションを考慮した献立作成、病院栄養士の意図をくみ取る必要性などを挙げました。また、現在、給食委託会社と試行錯誤で関係性を構築しているなかで生じるインシデント・アクシデントを紹介しながら、フィッシュボーン図やRCA分析等の問題解決を図るフレームワーク活用の有効性を説明。締めくくりとして、「委託栄養士と対等に仕事ができるよう相互理解を深めたい。『できない』ことより『できる』ことを共に考えたい」と語りました。

3人目の講師には、手稲深仁会病院で田中さんと共に働く西平有希さん(日清医療食品 手稲深仁会病院事業所チーフ栄養士)が、これまで

の経験をもとに委託側が求められる人材マネジメントのあり方を解説。西平さんは、同院において下は18歳、上は79歳という幅広い世代の56名のスタッフをまとめる管理職です。日々のマネジメントの中で生じる人間関係の軋轢や誤解を解決するためには、思考の変換や基本的な挨拶が重要であると指摘。「委託や直営といった壁があっては満足な食事は提供できない。相手に感謝する心を忘れずに日々取り組みたい」と力を込めました。

講義の後は、各講師陣を含めた3つのグループにわかれてディスカッションを実施。参加者それぞれが思いを語り合いました。

本研究会は、今後も栄養経営士が自ら企画を持ち寄り、継続的に開催される計画です。



グループワークでは直営栄養士と委託栄養士と一緒に話し合った

## 【関東支部】 セミナーレポート

## 組織力も企画書もコミュニケーション力が鍵になる!

## 第3回「栄養部門組織力向上のポイント」

日本栄養経営実践協会関東支部では、ヘルスケアビジネス経営人材育成研究所所長で多摩大学・介護ソリューション研究所フェローの石井富美氏を迎えた「栄養経営人材養成講座」の最後となる第3回を12月1日(土)に行いました。

気持ちを伝えるだけではダメ  
伝わっているか確認することが重要

最初に経営における人的資源について解説したあと、人を育てるという視点から、石井氏は職場でのコミュニケーションについて触れました。職場でのコミュニケーションがうまくいかないのは、本人が果たしている役割と周囲から期待されている役割にギャップがあったり、同じものを見ても経験や知識によって解釈が異なったりするせいだと説明し、「言葉だけで説明したとき、相手が自分と同じものを頭の中で想像していると思ったら大間違い。いかにきちんと伝えて、相手に自分の考えがちゃんと伝わっているか確認する必要がある」と話しました。そして、コミュニケーションの課題を解決するためのスキルとして、傾聴、パラフレーズ、オープンクエスチョンといった手法を紹介、2人1組になって演習を行いました。

参加者が各スキルの有効性を実感したあとは「チームのつくり方」について説明。職場でのチーム

形成の初期から成熟期まで、各段階でリーダーが取るべき行動を示し、前半は終了しました。

知識を知恵に変え「その人にあった  
最適な生き方」を支援できる専門職に

講座の後半は、厚労省の「保健医療2035」の紹介からはじまりました。石井氏は簡単にその内容を伝えたあと「地域包括ケアは『地域の暮らしを支える医療』。病院から地域に出て、要支援や要介護以外の、フレイルの人や健康な人にも専門職が関わっていく必要がある」と説明。こうした活動に診療報酬はつかないものの、今後は必須の活動であるとしたうえで「食育活動として子ども食堂を立ち上げるために、病院として予算を取ってもらうための企画書をつくる」というグループワークを行いました。石井氏の「企画書には、ぜひ診療報酬以外の『病院にとってのメリット』を入れてつくって」というアドバイスにより、発表では、病院の離職率低下や地域コミュニティの強化、食や健康の相談、病院の知名度・イメージアップをねらったものなどさまざまな案が出ました。

発表のあと、石井氏は「皆さんにはすでに知識がある。知識を整理し、考え方、視点の広さを持つと、知恵になる。知恵を身に付けると、知識を持った1人の人間として、このように社会に貢献できる」と、

参加者に地域に出て活動することの必要性を訴えました。

最後に「これからは年齢、性別、国籍、疾患の有無、いろいろな背景を持つ人たちが『その人にとっての最適な生き方』を選ぶ時代。それを見出せるのは専門職の知恵だと思うので、ぜひ、それが提供できる人になって欲しい」と締めくくり、講座は終了しました。

参加者からは「もっと石井先生の講義を聞きたい」「またやって欲しい」という声をいただきました。石井先生からも「また、ぜひやりたい」というお言葉をいただいております。来年以降の開催を企画中です。次回開催の際も、ぜひ、奮ってご参加ください。



グループワークで“経営陣の心をつかむ”子ども食堂の企画を考える参加者たち

# 日本栄養経営実践協会 情報掲示板

## セミナー情報

### ～基礎医学を身につけ、医師に言いたいことを伝える方法を学ぼう!～ 管理栄養士のための基礎医学講座 実践編

医師の立場から「栄養士の方にここだけは知っておいてほしい」というポイントを解説する人気のセミナーで、今回は学んだ医学知識を「医師に上手く伝える方法」を実践的に学びます。解説は糖尿病、COPD、腎疾患、骨粗しょう症などの病態についてを予定しています。

- 日 程：2019年2月16日(土) 10:30～16:30
- 講 師：三浦公志郎氏  
(九州女子大学 家政学部 栄養学科 教授/医師)
- 参加費：【当協会会員】7,000円 【一般】8,000円  
※終了後に講師との懇親会あり、会費:1,500円(別途)
- 会 場：九州ビル8階「桐の間」(福岡市博多区博多駅南1-8-31)
- 定 員：40名(先着順)
- お問い合わせ：株式会社日本医療企画 九州支社(担当:石田)  
TEL:092-418-2828

## セミナー情報

### 神奈川県栄養士会 栄養学術研修会 吉田貞夫の食と排泄を楽しく学ぶ栄養ライブ

当協会の理事である吉田貞夫先生が講師として登壇され、認知症の摂食障害とその対応や食べること、排泄することを支える栄養管理の工夫などについて講義が行われます。

- 日 程：2019年1月19日(土) 10:00～15:45
- 講 師：吉田貞夫氏  
(医療法人ちゅうざん会 ちゅうざん病院 副院長/金城大学 客員教授/日本栄養経営実践協会 理事)
- 参加費：【日本栄養士会会員】4,000円  
【一般】8,000円 ※1月10日(木)受付締切
- 会 場：神奈川県立よこはま看護専門学校  
(神奈川県横浜市旭区中尾1-5-1)
- 定 員：200名(先着順)
- お問い合わせ：医療法人社団三喜会 鶴巻温泉病院(担当:國見)  
TEL:0463-78-1311

## セミナー情報

### 母子栄養懇話会 教育セミナー2019 エビデンスに基づいた栄養管理を学ぼう

論文を作成し学会で発表するまでのステップや不妊治療に関する知識、乳幼児の食に関わる機能の発達についての講演が行われます。

- 日 程：2019年2月2日(土) 15:00～20:00
- 講 師：渡邊浩子氏(大阪大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 教授)  
高橋敬一氏(高橋ウイメンズクリニック 院長)  
弘中祥司(昭和大学 歯学部スペシャルニーズ口腔医学講座 口腔衛生学部門 教授)
- 参加費：【一般】10,000円  
【学生】3,000円 ※1月26日(土)受付締切  
※軽食付き、別途手数料300円が必要
- 会 場：江崎グリコ株式会社 品川オフィス 会議室  
(東京都港区高輪4-10-18 京急第1ビル10階)
- 定 員：60名(先着順)
- お問い合わせ：NPO法人母子栄養懇話会 事務局(担当:松本)  
TEL:080-2042-0590

## 学会情報

### 第34回 日本静脈経腸栄養学会 学術集会(JSPEN2019)

今年は「栄養治療のArt and Science -新たなるbreak-throughを目指して-」をテーマに、東京の品川地区で開催されます。

- 日 程：2019年2月14日(木)・15日(金)
- プログラム：特別講演、教育講演、シンポジウムやパネルディスカッション等を予定
- 入場料：事前参加登録【JSPEN会員】14,000円(不課税)  
【一般】15,000円(税込)  
※1月10日(木)受付締切
- 会 場：グランドプリンスホテル新高輪 国際館パミール/グランドプリンスホテル高輪  
(東京都港区高輪 3-13-1)  
TKPガーデンシティ品川(東京都港区高輪3-13-3 SHINAGAWA GOOS 1F)
- お問い合わせ：運営事務局(株式会社コングレ)  
TEL:03-5216-5318

## 管理栄養士・栄養士の必携手帳

# 栄養士ダイアリー 2019年版

- 各月掲載している「今月のキーポイント」は病院・施設から在宅まで、幅広い栄養管理のコツが盛りだくさん!
- 「ちょっと確認したい」に応える「日本人の食事摂取基準」「基礎用語解説」など、すぐに使える資料が充実!
- 監修に奈良信雄先生(順天堂大学医学部特任教授/東京医科歯科大学名誉教授)を迎え、好評の「臨床検査データ」を刷新!

掲載内容

- 1 今月のキーポイント
  - 2 旬の食材&シーズンメニュー
  - 3 大量調理施設衛生管理マニュアル
  - 4 「日本人の食事摂取基準」(2015年版)のポイント
  - 5 臨床検査データ
  - 6 クリニカルサービスの基礎用語解説・略語集 ほか
- 特別付録 『消化器トラブルサポートBOOK』(16ページ)



監修：『ヘルスケア・レストラン』栄養企画委員会  
体裁：A5判 240ページ 付録冊子付  
定価：2,160円(本体価格2,000円+税)  
会員価格：1,728円(税込) **2割引**  
ISBN：978-4-86439-728-5



大好評発売中!

栄養経営士・栄養経営サポーターは会員価格で  
ご購入いただけます。  
ぜひ、部署や部門の皆さままでそろえてご活用ください!

# 第4回「全国栄養経営士のつどい」in 大阪 大会テーマとメインプログラムが決定!



昨年の札幌大会の「協会理事による特別パネルディスカッション」で参加者の質問に答える秋山和宏理事、真壁昇理事、吉田貞夫理事(写真左より)

## 関西支部長からのメッセージ 地域包括ケア時代が求める 栄養経営士について考えよう!



日本栄養経営実践協会関西支部  
支部長  
医療法人嘉健会 思温病院  
管理栄養士

前島美千枝氏

高齢化の進展に伴い社会保障費が拡大するなか、国は「病院から在宅へ」と大きく舵を切り始めました。

高齢者の健康長寿を支える地域づくりが急務とされる現状において、栄養経営士は何をするべきか今一度しっかりと考えなければなりません。

高齢者が地域で元気に暮らしていくためには、栄養ケアはもとより、薬やリハビリテーションといった医療的ケア、メンタルヘルスまで、あらゆる視点からトータルなサポートが必要です。「第4回全国栄養経営士のつどい」を通じて医療、介護、福祉、教育、一般企業等々、各領域の栄養経営士が相互理解を深め、それぞれが進むべき道の糸口を見出す機会となりますことを祈念します。

第4回となる「全国栄養経営士のつどい」の大会テーマは、「地域包括ケア時代が求める栄養経営士の役割と活動」重症化予防から医療・介護の連携に決定した。地域包括ケアシステムの構築が進み、病院や施設内で完結する医療・介護のあり方が大きな転換期を迎えるなかで、そこで働く専門職に求められる役割も大きく変わろうとしている。管理栄養士も例外ではなく、従来どおりの業務をこなしているだけでは、必要とされなくなる時代がすぐそこまで来ていると言える。

では、この「地域包括ケア時代」に求められる管理栄養士が今後

る管理栄養士の役割とは何か。今年4月の診療報酬介護報酬の同時改定で示された方向性を読み解くと「重症化予防」と「医療・介護の連携」という2つのキーワードが浮かび上がってくる。これからの管理栄養士はこの2つのキーワードに基づいた、柔軟かつ幅広い動きが求められる。

今日大会では、そのような管理栄養士が今後

さらには特別講演として

**大会テーマは「地域包括ケア時代が求める栄養経営士の役割と活動」**  
2019年3月10(日)、国民會館武藤記念ホール(大阪市)で開催する第4回「全国栄養経営士のつどい」大阪大会の大会テーマが決定した。プログラムの内容についても登壇いただく講師の方々も確定。大会開催に向けた準備がいよいよ大詰めを迎えている。

**転換期を迎える医療・介護  
栄養経営士に求められるものは**

求められる動きについて、具体的なかつ実践的な内容を盛り込み、栄養経営士として何をすべきかを明らかにしていく。

**地域での重症化予防や在宅療養サポートについての講演を予定**

当日のプログラムも固まり始めている。基調講演には近江八幡市立総合医療センター腎臓センター顧問で京都市の八田内科医院理事長・院長である八田告先生が登壇。「適塩活動」による重症化予防に向けた地域づくりと管理栄養士に期待される役割」として、ご自身が取り組まれている地域での重症化予防について講演いただく。

その他、大会詳細については、決定次第、当協会のホームページにて順次公開していくほか、会員向けメールマガジン等でも情報を提供していく。

て、大津市で全人的医療に取り組みされている西山医院院長の西山順博先生に「在宅療養サポートチーム(hsT)のなかで求められる栄養部門の知識と役割」についてお話しいただく予定だ。

**国民の栄養白書**  
2018年度版

「大包括ケア時代」の在宅を生き抜く  
**地域栄養経営の実践**

監修：『ヘルスケア・レストラン』栄養企画委員会  
企画・制作：ヘルスケア総合政策研究所

定価：4,320円(本体価格4,000円+税)  
会員価格：3,456円(税込)2割引

体裁：B5判 180ページ  
ISBN：978-4-86439-736-0

日本栄養経営実践協会 推薦図書

**『国民の栄養白書 2018年度版』**

「大包括ケア時代」の在宅を生き抜く  
**地域栄養経営の実践**

好評  
発売中!

マネジメントが変える  
新時代の栄養ケア

巻頭特別対談  
都市型介護予防モデルの開発とメディカルウォークの可能性  
**目で創る、口が拓く、寝たきり知らずな街づくり**

第1部：地域高齢者の現状と課題  
第2部：地域包括ケアシステムと栄養の制度改革  
第3部：地域再編へ動き出した専門職たち  
第4部：地域栄養経営の実践編

目次

くわしくは [栄養白書](#) 検索